

議会報告会報告書②

令和5年10月31日

山陽小野田市議会

議長 高松 秀樹 様

A班

代表 岡山 明

令和5年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時 令和5年10月31日（火） 19:00～20:30

2 開催場所 須恵地域交流センター 第1研修室

3 参加人数 12人

4 担当班議員名

(岡山 明) (大井 淳一郎) (白井 健一郎) (恒松 恵子)
(中村 博行) (古豊 和恵) (前田 浩司) (矢田 松夫)
(山田 伸幸)

5 報告会次第

(1) 高松議長挨拶

(2) 9月議会の報告（議会報告会用動画を放映）*総合司会者 恒松 恵子

① 総務文教常任委員会

② 民生福祉常任委員会

③ 産業建設常任委員会

6 各班の意見（発表内容）

《総務文教常任委員会関係》

*アプリを活用した情報発信充実事業

- ・(質問) L I N E のプッシュ通知で、高潮注意報が頻繁に出されているが、市民を守るための護岸工事など、何らかの対策が必要と思うがどうか。
- ・(回答) 堤防を強化するだけでは対応できない防災など、今後は逃げ遅れゼロを目指した早めの避難も大切である。

<意見・要望>

- ・スマホの操作が不慣れな市民に対しての研修をどのように考えているのか。
- ・議会として、公式L I N Eをどのように活用するのか。市民に議会の情報を積極的にP Rする必要はないのか(議会報告会開催情報など)。
- ・L I N E登録人数が少なすぎるのではないかと。啓発方法をどのように考えているのか。
- ・広報紙配布で協力の自治会を利用するのも一つの手ではないか。自治会で発行する情報誌にQ Rコードを載せるなどして、チラシ等で周知徹底に努めてみてはどうか。
- ・スマホを持たないI C T弱者への一定の配慮をどのように考えているのか。

《民生福祉常任委員会関係》

*空家等の適正管理の補助事業

- ・(質問) 市が空き家として認識している件数はどのくらいあるのか。
- ・(回答) 5年前の実態調査で1, 300くらいだったと思う。
- ・(質問) 撤去・活用する1件当たりの補助額が少なく感じるが。
- ・(回答) 税金を使用することになるので、今後検討したい。
- ・(質問) 施設に入っている方の空き家情報を入手した場合、どうしたら良いか。
- ・(回答) 市に連絡し所有者を探してもらうことが良いかと思う。
- ・(質問) 空き家対策の市の窓口はどこか。
- ・(回答) 生活安全課になる。

<意見・要望>

- ・対象とする人に対して、空き家対策制度の周知や啓発をしっかりと行えているのか。空き家バンクの情報は、市民に確実に伝わっているのか。
- ・所有者不明の空き家の状況は、どうなっているのか。適正に管理されない空き家が減ることはないのでは。
- ・空き家調査を定期的実施すべきではないか。議会から執行部に対して、しっかり指導する必要があるのではないかと。
- ・老朽危険空き家に対しての通報義務など、自治会への届出義務が必要ではないか。

《産業建設常任委員会関係》

* 水道料金の改定

- ・(質問) 以前、宇部市との広域化の話が一時あったのではないか。
- ・(回答) 以前はあったが、今はない。
- ・(質問) 前回の料金改定はいつ頃か。
- ・(回答) 30年くらい前である。
- ・(質問) 4年後の段階的引き上げ時、財源の確保に有効な手立てはないのか。
- ・(回答) 水道利用者の減少により、使用水量の増加は見込めない状況で、国からの補助金に頼るしかないのではないかと思う。
- ・(質問) 老朽化した施設の更新に向けて、基金を創設していなかったのか。
- ・(回答) 積み立てていなかった。
- ・(質問) 不足分について、市の一般会計からの繰出しに問題が発生することはないか。
- ・(回答) 問題はない。
- ・(質問) 40年を経過した水道管の改修計画で、水漏れや破損状況による優先順位等で問題が発生することはないのか。
- ・(回答) 優先順位を決めて更新を行う。

<意見・要望>

- ・当初、水道事業の設備は国が面倒を見て、維持管理は自治体管理に任せ、別会計との説明を受けたが、全国的に問題となっている設備の維持管理は国が面倒を見るべき(補助金など)ではないか。
- ・電気について設備が悪いから値上げするという話はない。設備が悪いことを理由に水道利用者から料金収入をさらに求めることに疑問を感じる。(今さら、「受益者負担」による「独立採算制」と言われても)
- ・市民への説明会など、説明責任をしっかりと果たすべきではないか。

《その他・全体の意見・要望》

- ・災害時要支援者に対する対応として、LINEを活用した取組など体制整備に向け検討中で、民生委員・福祉委員で月1回情報収集・実体調査を行い、各家庭に寄り添った支援内容の検証を行っている。(市のLINEや防災情報の利活用)
- ・高潮のハザードマップ作成時に参加した。避難場所が分かりづらいので、もっと明確にしてほしいと要望した。一覧表を貼り付ける部分が見づらい。